

Keizai Koho Center

「DX時代に問われる日本企業の価値創造力」

2020年9月25日

講師：田中 道昭 立教大学ビジネススクール教授

経済広報センターは9月25日、田中道昭立教大学ビジネススクール教授を招き、「デジタルトランスフォーメーション（DX）時代に問われる日本企業の価値創造力」と題するオンライン会合を開催した。会員企業の幹部や担当者約100名が参加。田中氏からDXの推進に向けて企業や個々人に求められるマインドセットなどについて説明を聴き、活発な質疑応答を行った。

田中氏は、DXが菅政権でも重視されるなか、日本のみならず欧米のビジネススクールや国際会議においても最重要テーマとなっており、その本質は、企業が事業を進化・アップデートすることにあると述べた。そのうえで、アマゾンやアリババがコンビニエンスストアや百貨店といった既存の事業を進化させ、新たなポジションを獲得していることを紹介し、DXによってあらゆる産業で事業の定義や存在意義が問われることになるとの見方を示した。また、フィットネス機器を軸にオンラインによる継続課金サービスなどを手がける米ペロトン社に関する分析を紹介し、自社の存在意義や事業の目的を明確にして顧客への価値提供を追求し続けることが、顧客との関係性を高め、企業価値を向上させると指摘した。

さらに、田中氏は、トヨタ自動車のスマートシティやMaaS（Mobility as a Service）に向けた戦略を例に、自社の提供価値を「車」などの「名詞」（=商品）ではなく、「動詞」（=つなげる）でとらえることが、自社の使命・ミッションを再発見し、事業を進化させていくことにつながるとの見解を示した。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<http://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。